

2022 年度入学試験問題

一般選抜前期日程

小 論 文

「論述（図表理解）」

注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は7ページ、解答用紙は1枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

問題 (150 点)

以下の図 1～6 は、日本における電子商取引に関するデータである。これらを参照しながら以下の設問に答えなさい。

設問 1

図 1～3 をもとに、我が国の「企業と消費者との間における電子商取引 (B to C EC^{注1)})」および電子商取引化率^{注2)} (物販系) について概観し、市場規模^{注3)} が拡大している理由について 300 字以内で述べなさい。

注 1) B to C EC における B to C は「Business to Consumer」、EC は「Electronic Commerce」の略である。

注 2) 電子商取引化率とは、すべての商取引額に占める電子商取引の市場規模の割合である。

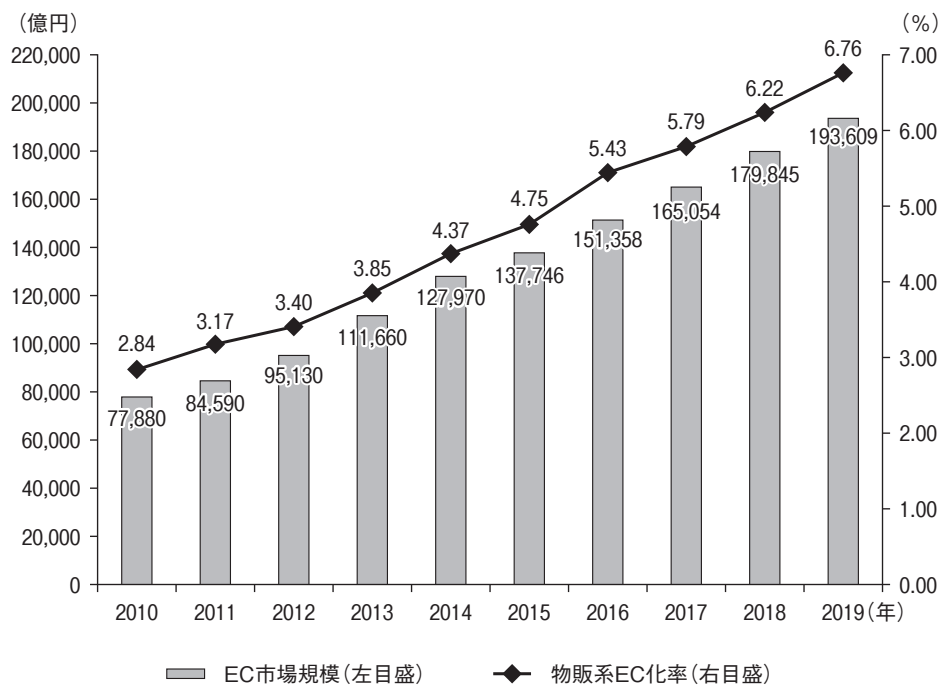
注 3) 市場規模とは、ここでは取引金額を指す。

設問 2

「ショッピングモールサイト」や「オークション・フリマサイト」、「シェアリングサービス^{注4)} サイト」の各種サービス利用に関するデータ (図 4～6) から、インターネットを利用した電子商取引の問題点を指摘したうえで、各種サービスサイトの利用価値についてあなたの考えを 500 字以内で述べなさい。

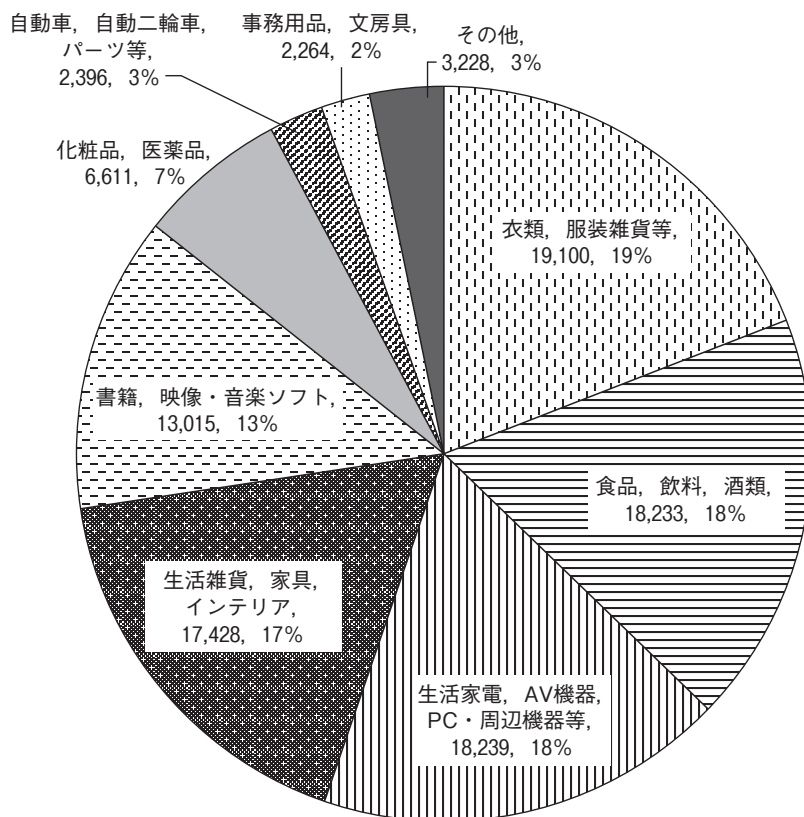
注 4) シェアリングサービスとは、複数人の間でモノ (商品)、場所等を共有することができるサービスのことである。

図1 B to C ECの市場規模と電子商取引化率（物販系）の推移（億円・％）



（出典）『令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業報告書』（経済産業省商務情報政策局）2020年7月，31ページより作成。

図2 物販系カテゴリーにおける電子商取引の構成比（億円・％）



(出典) 『令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業報告書』（経済産業省商務情報政策局）2020年7月、53ページ。

図3 インターネットショッピングモールを利用する理由（件）

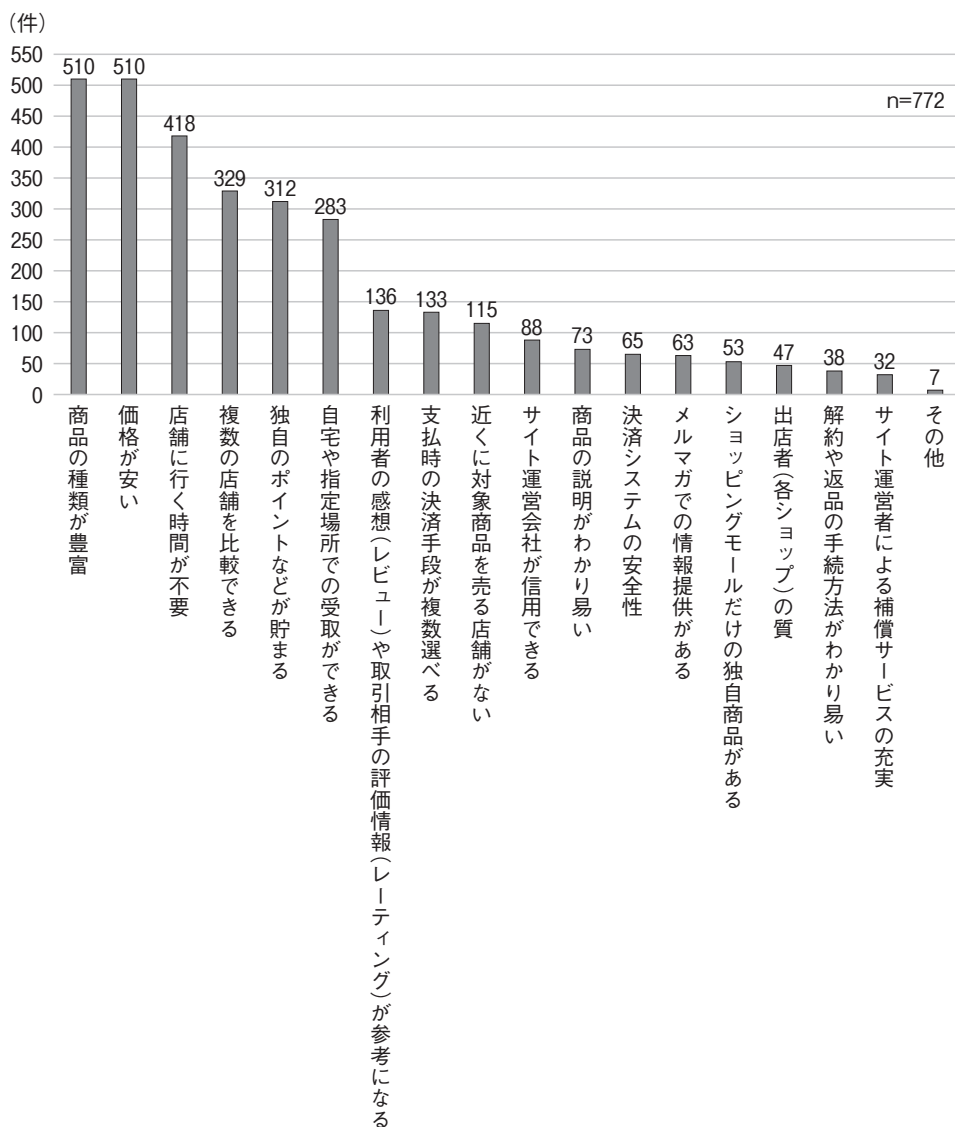
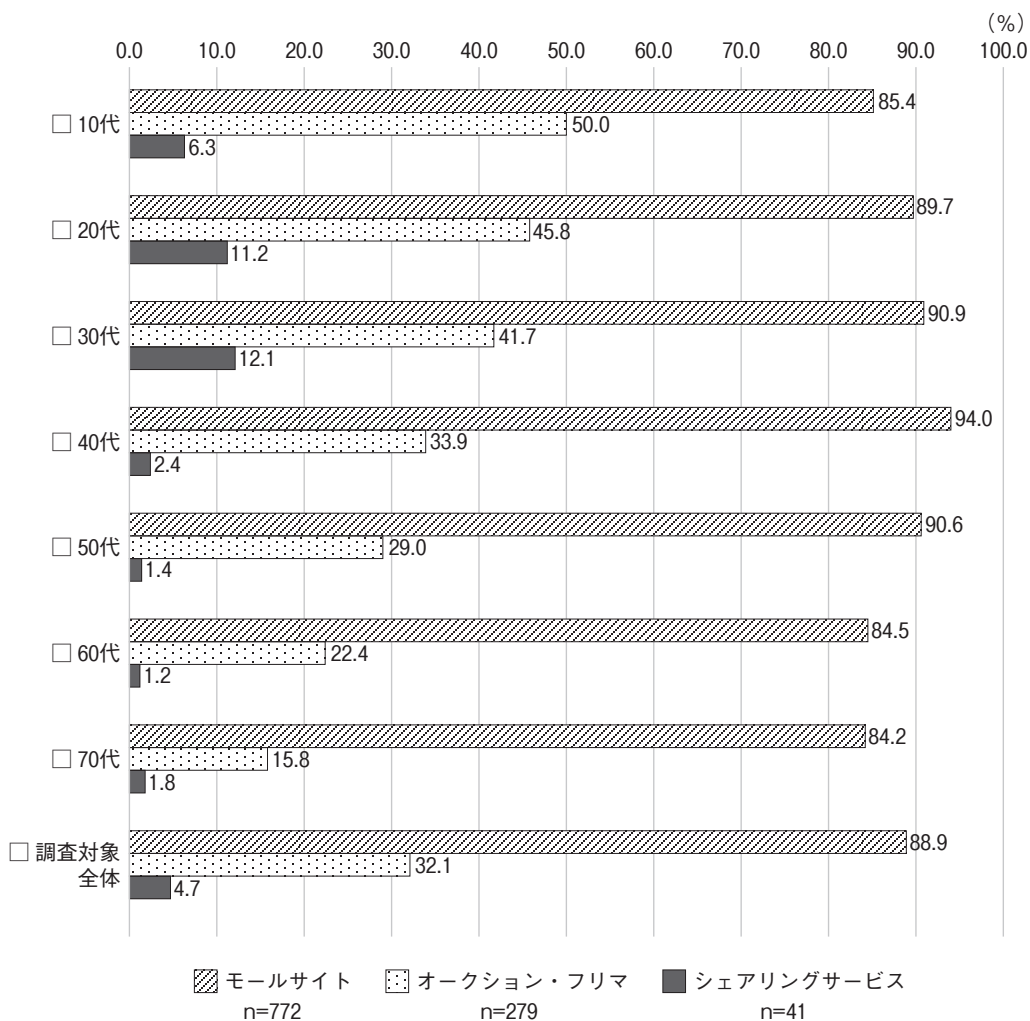


図4 年代別の各種サービスの利用状況 (%)

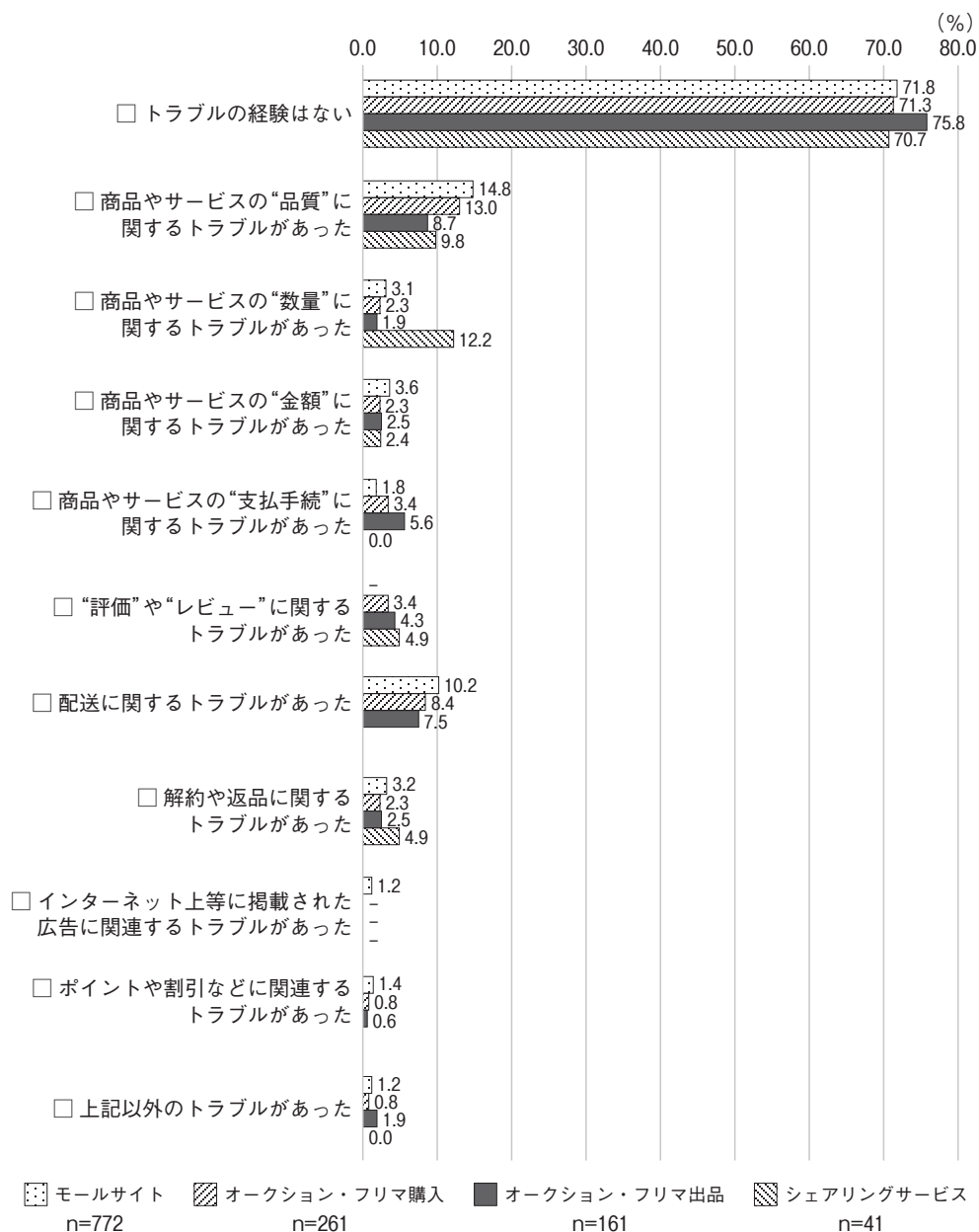


(注1) 図中のそれぞれのnは、各種サービスの利用者の合計を示す。

(注2) 図中の%は、年代ごとの各種サービスを利用した人数の割合を示す。

(出典) 『インターネットを利用した取引に関するアンケートの主な結果概要(グラフ)』(第5回オンラインプラットフォームにおける取引の在り方に関する専門調査会・内閣府消費者委員会) 2018年7月、1ページより作成。

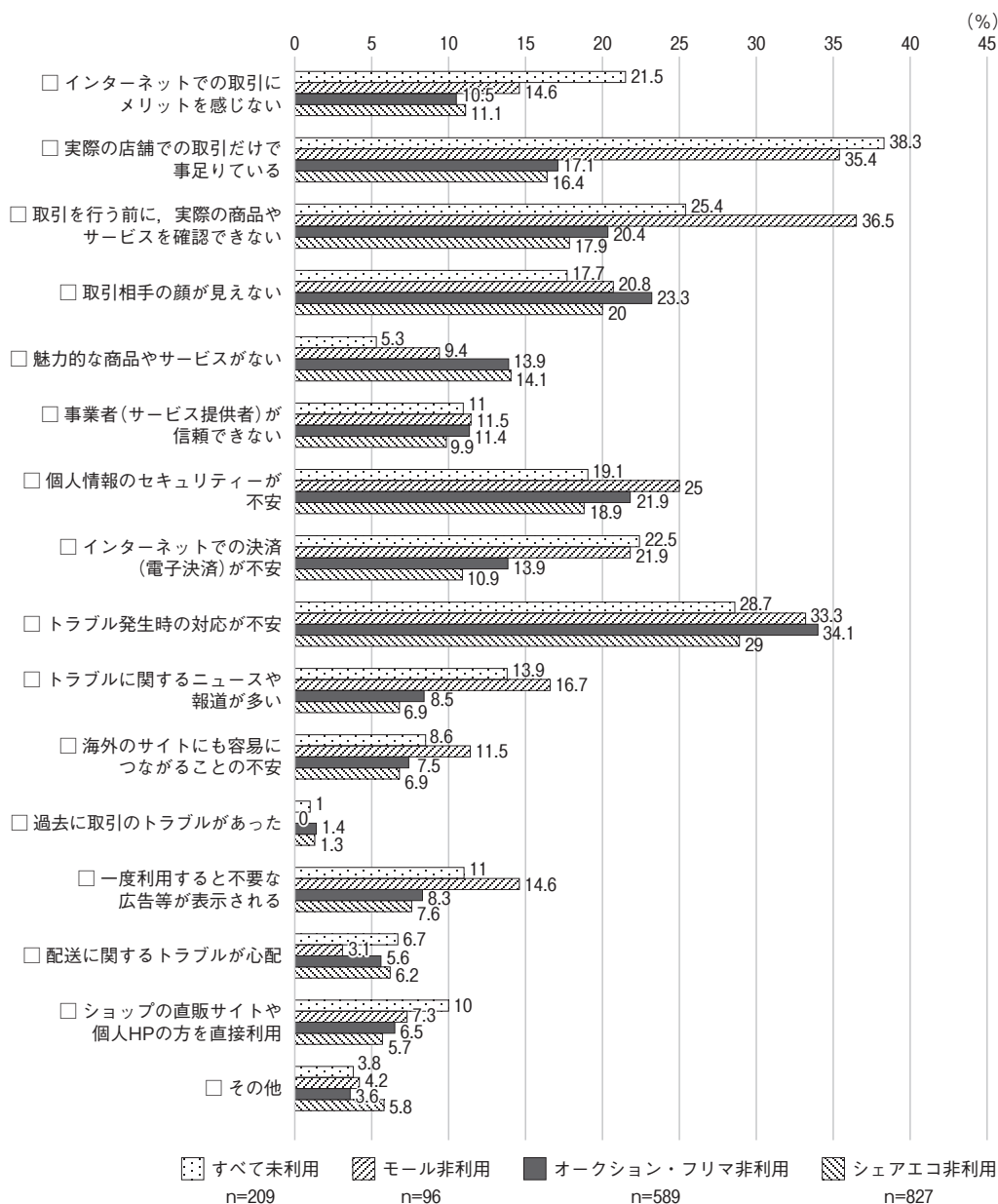
図5 各種サービスサイトの利用時のトラブル経験 (%)



(注) 図中のそれぞれのnは、各種サービスの利用者の合計を示す。

(出典) 『インターネットを利用した取引に関するアンケートの主な結果概要(グラフ)』(第5回オンラインプラットフォームにおける取引の在り方に関する専門調査会・内閣府消費者委員会)2018年7月、4ページより作成。

図6 各種サービスサイトを利用した取引を行わない理由 (%)



(注) 図中のそれぞれのnは、各種サービスを利用したことがないと回答した人数である。また凡例にあるシェアエコとは、シェアリングエコノミーの略であり、個人または複数人の中でモノや場所等の共有を行う経済活動を指す。

(出典) 『インターネットを利用した取引に関するアンケートの主な結果概要(グラフ)』(第5回オンラインプラットフォームにおける取引の在り方に関する専門調査会・内閣府消費者委員会)2018年7月、9ページより作成。